

図書コード・書 名		577	ふわふわどっち？		541	すくすく脳育で！ かたちをはめこむ まるさんかくしかく	
発 行 者・著 者		ベネッセコー ポレーション	accototo		岩崎書店	かしわら あきお	
判型・ページ数・価格		16.4×16.4cm	14ページ	1,320円	17×17cm	10ページ	1,430円
採 択 基 準	基 本 観 点						
1 学習指導要領に 示す目標に沿い、 その内容を適切に 取り上げているこ と。	(1) 教科の目標達成 に必要な内容	見開きごとにいろいろな手ざわりが 楽しめて五感を刺激することができる。 関連教科（国語、生活）			身近な形である丸、三角、四角を取 り上げることで、身の回りのものの形 に着目し、図形の違いがわかるように する。 関連教科（国語、外国語）		
	(2) 障害の状態、 発達段階及び特性 などへの配慮	「ふわふわ」「ぶつぶつ」などのオノマ トペがいっぱい言葉の感覚が育つように 指導することが大切である。 「○○どっち？」と指導者とのやりとり をくり返すことで楽しく学ぶことが大切で ある。			「くまさん、風船もってるね」「ま るはどこ？」「さんかくは何色？」な ど問いかけながら、コミュニケーション を取りながら進めることができる。		
2 内容の程度が、 児童生徒の発達段 階に適応している こと。	(1) 発達段階のめ やす(注1)	A 段階			A・B 段階		
	(2) 障害の状態、 発達段階及び特性 などへの配慮	「ふわふわ」「ぶつぶつ」などのオノマ トペがいっぱい言葉の感覚が育つように 指導することが大切である。 「○○どっち？」と指導者とのやりとり をくり返すことで楽しく学ぶことが大切で ある。			「くまさん、風船もってるね」「ま るはどこ？」「さんかくは何色？」な ど問いかけながら、コミュニケーション を取りながら進めることができる。		
3 内容の選択及び 扱いが、学習指導 を進める上で適切 であること。	(1) 生活経験や興味 ・関心への配慮	動物が次々に出てくるので、動物へ の興味・関心を抱かせることができ る。			丸・三角、四角の3つのパーツがあり、 絵の中に丸・三角・四角が隠れているの で、見つけて溝にはめ込むことができる仕 掛けになっている。パーツをはめ込んだ り、抜き取ったりする活動を通して手指の 発達も促すことができる。		
	(2) 主体性や創造性 思考力、判断力、 表現力等の育成	触り心地の良い素材が使われてい て、思わず触りたくなる工夫がされて いる。			丸は赤色、三角は黄色、四角は水色 で示されており、形や色の認識を育て ることができる。		
4 内容の構成・配 列・分量が、学習 指導を有効に進め る上で適切である こと。	(1) 系統性・発展性	「○○どっち？」と指導者とのやり とりをくり返すことで身近な物への興 味・関心へと発展できる。			身の回りにあるものの形に関心を向 けて、丸や三角、四角を考えながら分 けたり、集めたりすることへ発展させ ることができる。		
	(2) 全体の分量	年間を通して使用するには若干量的 に少ない。			一回で読み切ることができる分量で ある。		
5 表記・表現が正 確かつ適切である こと。	(1) 文字、文章、 挿絵	楽しい挿絵に興味を抱きやすい。絵 に立体感があり、思わず触ってみたくな る。			文字はひらがなで、黒字である。挿 絵の横には、挿絵を表す英単語が書か れている。		
	(2) 図表、写真等 の資料	使用されていない。			使用されていない。		
6 体裁や造本が適 切であること。	(1) 色使い、ページ レイアウトなど	実物と似た色で鮮明に描かれてい る。色鮮やかな素材や凸凹した素材、 ふわふわな素材が使用されている。			黒、赤、黄、水色が使われており、 シンプルではっきりとした色使いであ る。		
	(2) 文字の大きさ、 字間、行間	文字は27.5ポイント、14ポイントで 書かれている。			文字の大きさは21ポイントで、行間 もあり見やすい。		
	(3) 用紙、製本、 表紙	用紙は紙質が良く、多少濡れても破 れにくい。製本はしっかりしている。 表紙は厚紙を使用している。			合紙製本であり、用紙は2mmの厚紙 を使用している。表紙は4mmの厚紙を 使用している。		
備 考 (発 行 年)							
		(R元)			(H30)		

図書コード・書 名		アートであそぼ かたちがばば		549	1、2、3さい あなあきかくれんぼ かずあそび	
発 行 者・著 者		学研プラス	さがわ いさむ		永岡書店	しみず だいすけ
判型・ページ数・価格		16×16cm	10ページ	1,210円	17×17cm	40ページ
採 択 基 準	基 本 観 点			1,320円		
1 学習指導要領に示す目標に沿い、その内容を適切に取り上げていること。	(1) 教科の目標達成に必要な内容	本を左右にかたむけると、しかけが動き、形や絵柄が変わる驚きの仕掛け絵本であり、「ある」「ない」がわかり、具体物を指さしたり、つかもうとしたり、具体物を対象して捉えることについて学習することができる。また、対象として捉えた具体物について、対応させたり、形、色、大きさなどの属性で見分けたりする学習ができる。		1から10の数字の概念や表し方についてわかり、数についての感覚を持つことができる。		
2 内容の程度が、児童生徒の発達段階に適切していること。	(1) 発達段階のめやす(注1)	A・B 段階		A・B 段階		
	(2) 障害の状態、発達段階及び特性などへの配慮	読み聞かせを通して、音や色の形、絵の変化を楽しめるようにする。おもちゃのように動かしたり、振ってみたりと楽しんで読めるように促す。		「数えてみよう」「穴ぼこいくつ」などくり返し問いかけながら、一緒に対応させながら穴を数えるなどの配慮が必要である。		
3 内容の選択及び扱いが、学習指導を進める上で適切であること。	(1) 生活経験や興味・関心への配慮	しかけの変化がワンパターンではなく、小さくなる、色が変わる、目が動く、柄が変わるなど色々な変化が楽しめる。かたむけるたびに、しかけがカタカタ鳴る音も楽しめる。		不思議な模様の穴ぼこは、ページをめくると、かわいいイラストに変身する。言葉遊びも楽しみながら、ページをめくり、数を数えることができる。		
	(2) 主体性や創造性思考力、判断力、表現力等の育成	色や動き、形のおもしろさに触れてアート思考も育むことができる。対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながら捉えることができる。		変身したイラストを指を使って数えることで主体性を養うことができる。言葉遊びでは、ページをめくことで何のイラストに変身するのか期待感や創造性を膨らますことができる。		
4 内容の構成・配列・分量が、学習指導を有効に進める上で適切であること。	(1) 系統性・発展性	いないいないばあ遊び、形の認識、手指運動、手品遊びなど遊び方がいっぱい広がる。		1から10までの数概念の基礎がつかめ、順序数や集合数の学習に発展させることができる。一つ、二つ、三つなどの数え方も身に付けることができる。		
	(2) 全体の分量	一回で読み切ることができる分量である。		年間を通して使用できる。一度に読み切ることができる分量である。		
5 表記・表現が正確かつ適切であること。	(1) 文字、文章、挿絵	文字は手書きフォント風である。簡単な文章がひらがなで書かれている。		すべてひらがなで、擬音語たっぷり、リズムカルで楽しい文が書かれている。ページをめくって現われる絵柄は、1のページでは「いちご」、2のページでは「にんじん」など、言葉遊びでも面白くなるように工夫されている。		
	(2) 図表、写真等の資料	使用されていない。		使用されていない。		
6 体裁や造本が適切であること。	(1) 色使い、ページレイアウトなど	カラフルな色合いであり、注目する箇所がわかりやすい。		はっきりとした美しい色彩である。		
	(2) 文字の大きさ、字間、行間	文字の大きさは約14ポイントで、行間もあり見やすい。		見出しの数字は42ポイントである。本文は10.5ポイントである。		
	(3) 用紙、製本、表紙	合成製本であり、用紙は3mmの厚紙を使用している。表紙は3mmの厚紙を使用している。		合成製本で、本文は厚手の用紙を使用している。表紙も厚手の用紙を使用している。		
備 考 (発 行 年)				(R3)	1、2、3歳向け (R元)	

図書コード・書 名		581	さわってたのしむ 点字つきえほん かず		604	いちごがいつこ いろ・かず・カタチ	
発 行 者・著 者		ポプラ社	フラー・スター 他1名		ポプラ社	わらべきみか	
判型・ページ数・価格		16×16cm	17ページ	2,200円	15.2×15.2cm	95ページ	1,320円
採 択 基 準	基 本 観 点						
1 学習指導要領に示す目標に沿い、その内容を適切に取り上げていること。	(1) 教科の目標達成に必要な内容	指で素材の感触を楽しみながら1～10の数について学ぶことができる。 関連教科 (国語、生活)			身近にある色や形、数に関することを可愛いイラストやリズムカルな言葉で学ぶことができる。 関連教科 (国語、外国語)		
2 内容の程度が、児童生徒の発達段階に適切していること。	(1) 発達段階のめやす(注1)	A・B 段階			A・B 段階		
	(2) 障害の状態、発達段階及び特性などへの配慮	4本の木の幹はざらざら、5羽の鳥はふわっなど、実物に近い素材に触れながら、楽しく数についての指導ができるよう工夫されている。指導者がざらざらやふわっなどと言葉かけするのを子どもたちが聞いて、素材に触れ、点字に触れながら指導をすることが大切である。			青い海・緑の蛙・白いうさぎのように「色と物」、丸とピザ、ハートと花びらのように「形と物」、1といちご、3とサンタクロースのように「数と物」を関連づけながら指導をすることが大切である。リズムカルな言葉で楽しみながら色や形、数について指導をすることが大切である。		
3 内容の選択及び扱いが、学習指導を進める上で適切であること。	(1) 生活経験や興味・関心への配慮	10までの数について知ることができる。生活に身近な挿絵と実物と似た感触の素材を通して、学習に興味・関心を抱かせる工夫がされている。			動物や食べ物、乗り物などが多く配置されていて、学習に興味・関心を抱かせることができる。		
	(2) 主体性や創造性思考力、判断力、表現力等の育成	思わず触ってみたいくなる挿絵と素材を通して、10までの数を身に付けることができる。			くすつと笑える楽しい挿絵や大きな字、色鮮やかな色を通して、色や形、数について身に付けようとする。		
4 内容の構成・配列・分量が、学習指導を有効に進める上で適切であること。	(1) 系統性・発展性	実物と似た感触の素材が使用されていて、具体物への般化がしやすい。			色や形、数に興味を持ち始めた子どもにぴったりの一冊で、ひらがなの学習にも発展できる。		
	(2) 全体の分量	生活に身近な物が描かれており、年間を通して使用できる。			生活に身近な物が描かれており、年間を通して様々な場面で使用できる。		
5 表記・表現が正確かつ適切であること。	(1) 文字、文章、挿絵	楽しい挿絵で興味を抱きやすい。絵に立体感があり、思わず触ってみたいくなる。			リズムカルな言葉と言葉の意味を連想できる挿絵が学習に興味を抱きやすい。		
	(2) 図表、写真等の資料	使用されていない。			使用されていない。		
6 体裁や造本が適切であること。	(1) 色使い、ページレイアウトなど	実物と似た色で鮮明に描かれている。			実物と似た色で鮮明に描かれている。色彩も明るく調和もよい。		
	(2) 文字の大きさ、字間、行間	文字は約14ポイントで書かれている。文節で区切られており、読みやすい。			文字は約14ポイントで書かれている。文節で区切られており、読みやすい。		
	(3) 用紙、製本、表紙	用紙は紙質が良く、多少濡れても破れにくい。製本はしっかりしている。表紙は厚紙を使用している。			製本はしっかりしている。表紙は厚紙を使用している。		
備 考 (発 行 年)		生活に身近な物で子どもたちの大好きな虫や動物、植物などが描かれており、指で素材の感触を楽しみながら読める点字付きユニバーサル絵本である。 (H29)			(R元)		

図書コード・書 名		かぞえるえほん おやすみわんちゃん		どちらがおおい？ かぞえるえほん さわるえ&てんじつき			
発 行 者・著 者		偕成社	中村 美遥		小学館	村山 純子	
判型・ページ数・価格		19×19cm	24ページ	1,100円	25cm×21cm	12ページ	2,090円
採 択 基 準	基 本 観 点						
1 学習指導要領に示す目標に沿い、その内容を適切に取り上げていること。	(1) 教科の目標達成に必要な内容	1から10の数字の概念や表し方についてわかり、数についての感覚を持つことができる。			盛り上げ印刷が施された絵を指でたどり、いろいろな「数」を数えて遊ぶ新しい発想の絵本。		
		関連教科（国語）			関連教科（国語）		
2 内容の程度が、児童生徒の発達段階に適応していること。	(1) 発達段階のめやす(注1)	B 段階			B 段階		
	(2) 障害の状態、発達段階及び特性などへの配慮	発達段階に応じて、内容理解のために、一つ一つ指差ししながら声に出して数えたり、数字に興味をもたせたりする必要である。			目の見える子も見えない子と一緒に楽しめる絵本である。		
3 内容の選択及び扱いが、学習指導を進める上で適切であること。	(1) 生活経験や興味・関心への配慮	おふとんから次々に顔を出すわんこたち。増えれば増えるほど、かわいくて、くり返し、何度でも数えたいくなる。			触って数えるという体験を通して、考えることができる。指先の感触もいろいろな感触が楽しめる。		
	(2) 主体性や創造性思考力、判断力、表現力等の育成	わんこたちを探して、指さしながら楽しんで数を数えることができるよう工夫されている。			細部まで見て、指で触って比べることで、感覚的にも捉えることができ、判断力や創造性を養うことができる。		
4 内容の構成・配列・分量が、学習指導を有効に進める上で適切であること。	(1) 系統性・発展性	身近なものの数を数えることで、学習した内容を発展させることができる。			ものを色や形、大きさ、目的、用途及び機能に着目し、共通点や相違点について考えて分類することも合わせて学習する。		
	(2) 全体の分量	一回で読み切ることができ、10までの数が適切な分量で収められている。			1ページにつき1テーマの問いかけに答えるようになっており、あそびは全部で12種類ある。		
5 表記・表現が正確かつ適切であること。	(1) 文字、文章、挿絵	楽しい表現の絵に合わせた、ひらがなの短い文が添えられている。			ひらがなとカタカナが使われている。文章には、点字が添えられている。挿絵には、盛り上げ印刷が施されている。		
	(2) 図表、写真等の資料	使用されていない。			使用されていない。		
6 体裁や造本が適切であること。	(1) 色使い、ページレイアウトなど	薄い色合いで、柔らかい印象。見開き1ページごとに、1から10までの数字が書かれている。			カラフルな明るい挿絵が描かれている。1ページにつき1テーマの問いかけがある。		
	(2) 文字の大きさ、字間、行間	文字の大きさは10.5ポイントで書かれている。句読点などは使用されていないが、単語と単語の間に一文字隙間がある。			文字の色はテーマに合わせて、カラフルな色が使われている。文字の大きさは、8ポイントで書かれている。単語と単語の間には隙間がある。		
	(3) 用紙、製本、表紙	上製本・ミシン綴じでソフトカバーがかかっている。			用紙、表紙は厚紙を使用している。表紙や裏表紙には、盛り上げ印刷が施された挿絵がある。製本は一枚の厚紙(0.5mm程度)を蛇腹に折って絵本に仕上げられている。		
備 考 (発 行 年)		(R3)			(R2)		

図書コード・書 名		トミカ かずあそび はって はがせる！ シールえほん		でんしゃでまなぶ すうじとさんすう			
発 行 者・著 者		講談社	渡瀬昌彦		天夢人	天夢人	
判型・ページ数・価格		18.8×21.0cm	18ページ	924円	18.2×25.7cm	64ページ	1,485円
採 択 基 準	基 本 観 点						
1 学習指導要領に示す目標に沿い、その内容を適切に取り上げていること。	(1) 教科の目標達成に必要な内容	何度でも遊べる「貼って剥がせるシール」で楽しみながら数の学習ができる。			鉄道に興味を持つ子どもが、電車のイラストや写真で楽しく数字や足し算・引き算を覚えることができる。		
		関連教科 (国語)			関連教科 (国語)		
2 内容の程度が、児童生徒の発達段階に適応していること。	(1) 発達段階のめやす(注1)	B 段階			C 段階		
	(2) 障害の状態、発達段階及び特性などへの配慮	乗り物や数の挿絵を見ながら同じ形の物に貼って剥がせるシールを貼る内容である。遊びを通して、興味付けながら形の認識を育てる指導をすることが大切である。			電車のイラストや写真を見ながら0～10までの数字や足し算、引き算について具体的に指導することが大切である。		
3 内容の選択及び扱いが、学習指導を進める上で適切であること。	(1) 生活経験や興味・関心への配慮	トミカが次々に出てくるので、自動車好きの子どもたちに興味・関心を抱かせることができる。			電車の写真が次々に出てくるので、鉄道好きの子どもたちに興味・関心を抱かせることができる。		
	(2) 主体性や創造性思考力、判断力、表現力等の育成	貼って剥がせるシールで何度も挿絵とシールのマッチングができる。			電車を連結することが「足し算」、切り離すことが「引き算」など、身近な例で算数の学習を進めることができる。電車のイラストの数を指で確認しながら数字を覚えることができる。		
4 内容の構成・配列・分量が、学習指導を有効に進める上で適切であること。	(1) 系統性・発展性	シールを貼る剥がす操作から、手指の巧緻性を高められる。 数字やひらがなの興味・関心へと発展できる。			数やひらがなの興味・関心へと発展できる。		
	(2) 全体の分量	年間を通して使用できる。			年間を通して使用できる。		
5 表記・表現が正確かつ適切であること。	(1) 文字、文章、挿絵	トミカの挿絵が学習に興味を抱きやすい。			電車の写真や挿絵が学習に興味を抱きやすい。		
	(2) 図表、写真等の資料	トミカの写真が使用されている。			電車の写真が使用されている。		
6 体裁や造本が適切であること。	(1) 色使い、ページレイアウトなど	実物と似た色で鮮明に描かれている。色彩も明るく調和もよい。			鮮明である。		
	(2) 文字の大きさ、字間、行間	文字は14ポイントで書かれている。文節で区切られており、読みやすい。			数字が42ポイント、文字は約14ポイントで書かれている。		
	(3) 用紙、製本、表紙	用紙は紙質が良く、多少濡れても破れにくい。製本はしっかりしている。表紙は厚紙を使用している。			製本はしっかりしている。表紙は厚紙を使用している。		
備 考 (発 行 年)		(R2)			(R3)		

図書コード・書 名		003	くらしに役立つワーク 数学	
発 行 者・著 者		東洋館出版社	監修／明官 茂	
判型・ページ数・価格		26×18cm	96ページ	880円
採 択 基 準	基 本 観 点			
1 学習指導要領に示す目標に沿い、その内容を適切に取り上げていること。	(1) 教科の目標達成に必要な内容	「基礎編」と「生活編」の2部構成となっており、数学についての基礎的な知識や技能（計算力）を使って、よりよく問題を解決しようとする態度、生活や学習に生かそうとする態度を養うことができる。 関連教科（社会、理科、体育・保健体育、職業・家庭）		
2 内容の程度が、児童生徒の発達段階に適応していること。	(1) 発達段階のめやす(注1)	D 段階		
	(2) 障害の状態、発達段階及び特性などへの配慮	基礎的な内容とよりよく生活していくために具体的な場面での内容が取り上げられていて、実際の生活と関連させながら数学の力を身に付けるようにする。テキスト「くらしに役立つ数学」と対応させながら学習を進められるように、テキストの対応ページも記載されている。		
3 内容の選択及び扱いが、学習指導を進める上で適切であること。	(1) 生活経験や興味・関心への配慮	「生活編」には、日頃の生活に役立つ問題がたくさん含まれている。自分の生活に活かしながら学習を進めることができる。生活に役立つ数学知識を具体例の中で学ぶことができる。		
	(2) 主体性や創造性思考力、判断力、表現力等の育成	「基礎編」の内容を「生活編」に活かしたり、「生活編」の内容でつまづいたときには「基礎編」に戻ったりして、主体性と思考力を養うことができる。		
4 内容の構成・配列・分量が、学習指導を有効に進める上で適切であること。	(1) 系統性・発展性	身に付けた知識や技能を、自分の実際の生活場面に置き換えて、発展させることができる。将来の自立した生活に必要な知識と教養を確実に身に付けられる。		
	(2) 全体の分量	大きく「基礎編」と「生活編」に分かれている。テキスト「くらしに役立つ数学」と対応させながら学習を進められる分量である。		
5 表記・表現が正確かつ適切であること。	(1) 文字、文章、挿絵	ルビが振られている漢字も多い。問題文は、太字で強調されている。挿絵はシンプルではっきりしていてわかりやすい。		
	(2) 図表、写真等の資料	図や表が多く使用されており、わかりやすい。		
6 体裁や造本が適切であること。	(1) 色使い、ページレイアウトなど	黒字の単色刷りである。		
	(2) 文字の大きさ、字間、行間	見出しは16ポイントで書かれている。本文は8ポイントで書かれている。		
	(3) 用紙、製本、表紙	表紙は厚紙を使用している。用紙は厚手の紙を使用している。ソフトカバーがかかっている。		
備 考 (発 行 年)		中学部、高等部向け (H29)		